

神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 <http://www.kanagawa-park.or.jp/>)

山岳スポーツセンター

【秦野市戸川1392 Tel 0463-87-9025】

まだまだ残暑も厳しい季節ですが、植物は季節に敏感です。花壇の花もチェンジして今はシュウメイギクの花が満開でクライミング利用者の目を楽しませています。(小清水)



宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 Tel 046-288-1373】



植生保護柵

7月号でもお知らせした宮ヶ瀬湖畔園地の西に位置する人工林の伐採地に、9月中旬、植生保護柵が設置されました。これは、シカの採食から植物を守るためのもの。せっかく植物が育ってもシカに食べられてしまつては大変！土砂崩れの危険もあります。夏の太陽をいっぱい浴びた植物たちは、褐色の地面を覆うように生長しています。柵で囲われたことで、長い年月をかけ顔ぶれを替えながら、更に生長していくことでしょう。

ところで皆さんは「パイオニア」という言葉を聞いた事がありますか？辞書で調べてみると「先駆者」という意味が出て来ました。実は、植物にも先駆者がいるのです。崩壊地や伐採地などのひらけた場所に、他の植物に先駆けて根をはる植物がいるのです。草木に乏しい土地にパイオニア植物が根付くことで土地が安定し、次へと繋がる森林環境を用意します。この伐採地では、パイオニア植物であるカラスザンショウの子どもたちがたくさん！顔を出しています。カラスザンショウは高木になる木。注意したいのは幹や枝にトゲがたくさんあること、しばらくはシカだけでなく、人間も近づけなくなりそうです。



カラスザンショウ

しかし、宮ヶ瀬ビジターセンターでは、そんなトゲ植物に負けることなく、この伐採地での植物の変化を、調査を通して見守っていくつもりです。どんな風に変化していくのか、今後が楽しみです！（長澤）

陣馬自然公園センター 【相模原市藤野町佐野川659-3 Tel 0426-87-5270】

陣馬山頂も今年の8月は気温30℃以上の日が多く、強烈な日差しと林の中から聞こえるセミの大合唱が、暑さを倍に感じさせました。登山者も山頂へ少々バテ気味の様子でたどり着いていました。しかし、シシウド・キキョウ・ウツボグサ・コオニユリ・バアソブ・レンゲショウマ・フシグロセンノウなどの「自然の花畑」がそんな暑さを和らげてくれたようでした。

陣馬山頂から8月12日「ペルセウス座流星群」を見ようと多くの登山者が訪れ、夏の夜空に出現した流星に感動していました。15日にはセンター前の沢井川で毎年夏休み恒例の和田地区「マス釣り大会」が実施され、子供たちの賑やかな声が谷間に響き渡っていました。

また、夏休み合宿中のスポーツクラブや、ボーイスカウトの子供達がセンターに立ち寄り、木の実や花の種で作るクラフト教室に参加し、それぞれが楽しみながら作品を仕上げました。夏休み最後には、朝晩ヒンヤリとした空気と虫の音で秋を感じさせるようになりました。たわわに実る木の実もまた、秋を感じさせてくれています。陣馬山頂のカシワの実、クラフトの材料としても大人気！大きく熟れるのが楽しみです。



生きものたちが感動を与えてくれる一方、自然の猛威も味わいました。9月7日未明に関東地方を直撃した台風9号の被害で、センター裏山の一部が崩落しました。土砂は建物の裏から脇を通り玄関まで押し寄せてきました。土砂は高さにして約23センチでした。訪れた登山者は崩れ落ちた場所と土砂を見て自然の猛威に驚き、また、轟音をあげ川幅いっぱい勢いよく流れる沢井川の様子に見入っていました。(荒井)



フシグロセンノウ

秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 Tel 0463-87-9300】

“野生の動物”とは？辞典を引いてみると、「野生=動植物が自然に山野に生育すること」とあります。意味は確かにわかるのですが、最近悩んでしまうことがあります。

これは、私が先日表尾根を歩いていたときに、出会った3頭のシカです。動物には出会いたいし、出会えたときは、“やった～”と飛び上がりたくなるほどうれしくなります。でも、私との距離は、ほんの5m程度。でも、ちょっと警戒したのかな？くらいで、のんびりとエサを食べています。確かに、野生の動物なのですが、なんだか距離が近すぎるし、警戒心がなさすぎる気がするのです。私のイメージする野生動物は、人の気配が近づいてくるだけで姿を隠し、“遠くから”・“偶然に”・“待ちに待って”出会えるかどうかなのです。こんなにのんびり写真を撮ってられる時間なんてないのです。

丹沢には、沢山の野生動物が棲んでいます。人の落とした食べ物に興味を持ち、人との距離を縮めるイキモノもいます。出会えるのは確かにうれしいけれど、“野生”の動物との本当の偶然の一瞬の出会いに感じる飛び上がるほどの喜びを、ずっと保って行ける場所であって欲しいと思います。

“野生の動物とは”、と聞かれたら皆さんはどう考えますか？(篠島)



丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 Tel 0465-78-3888】

『紅葉の楽しみ方 丹沢湖編』

夏のような暑い日が続きますが、帰り道ふと辺りを見回すと、スキの穂が草原を覆い、一面の鳴く虫の声、少し冷たくなった夜風。生きものたちは、確実に秋の到来を伝えてくれています。

秋の楽しみと言えば何を思い浮かべますか？私はやはり紅葉です！丹沢湖周辺では、例年11月中旬ごろから見頃を迎えます。今回は、少し先取りしてオススメの紅葉スポット等をご紹介します！

●展望と紅葉を楽しみたい！

千代の沢園地：駐車場から5分ほど階段を登ると、展望台があります。丹沢湖と富士山と一緒に望めます。

秦野峠林道：ビジターセンター横の道を上っていきます。1時間半ほどで、大迫力の富士山と湖周辺の山々の紅葉が見渡せます。岩壁にはイワシャジンやホトトギスの花も！



地面を彩るホソエカエデの落葉

●体を動かしながら紅葉めぐり！

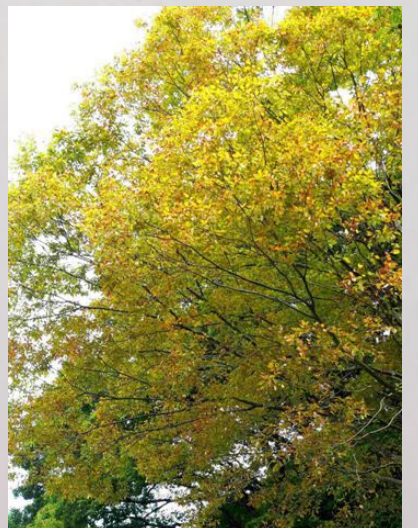
サイクリング：湖の中央にある丹沢湖記念館では、サイクリングの貸出し(有料)を行っています。お弁当を持って、ゆっくりと湖の周りをまわるのもオススメです。

滝見物：湖の左端、世附という地区には林道を15分歩いて滝を見に行くことができるコースがあります。川沿いにきれいな紅葉が見られます。

●自分なりの楽しみ方

お気に入りの紅葉スポットを探して写真を撮ってみたり、早朝や夕焼けの紅葉を見に行ってみたり、とにかくのんびり景色を眺めてみたり、自分なりの楽しみ方を見つけてみるのも楽しいものです。私も毎年、丹沢湖の周りをぐるぐるまわり、お気に入りの場所や新たな発見を見つけて楽しんでいます。

ビジターセンターでは、見どころや咲いている花の情報をご紹介します。お出かけ前またはお帰りの際に、ぜひビジターセンターにお立ち寄りください！(斎藤)



ケヤキの黄葉